

令和8年1月27日

平群町教育委員会事務局 総務課

### 質問回答書

次の 工事 について下記の通り回答します。

工事番号：教第7-7号

工事名：平群南小学校・平群中学校屋内運動場改修工事

平群南小学校		
No.	質問内容	回答内容
1	A-01 改修特記仕様書 1 2. 仮設工事：①足場その他の枠組 足場材は、先行手摺式くさび式足 場を使用して宜しいか。	くさび緊結式足場として問題ありま せん。仮設計画書において監督員の 確認を受けてください。
2	A-01 改修特記仕様書 1 1. 各章共通事項：17 化学物質濃度 測定は、南小学校は不要と判断し て宜しいか。	内装改修工事がないので、化学物質 濃度測定は不要です。
3	A-06 仮設計画図 交通誘導員の配置は常駐と記載さ れていますが、常駐3名と判断し て宜しいか。	A-06 仮設計画図及び現場説明書 (8) 記載の通り、常駐3名です。
4	A-11, 12 立面図、A-13, 14 断面詳細 図 D の軒樋が既設撤去の上新設とあり ますが、支持方法等が不明です。 詳細の指示をお願い致します。	軒先より軒樋用の吊り金具（垂鉛め っき既製品）を取付、軒樋を吊り下 げてください。支持方法はとい製造 メーカーの仕様によるものとしま す。
5	現場説明書（10）指定仮設工事を 含むとあります。一方、図面 A- 06（中学校）で指定仮設の記載が ありますが、小学校では記載が見 当たりません。指定仮設をご教示 ください。	現場説明書（10）仮設に記載の通 り、南小学校については仮囲い、敷 板、交通誘導員は指定仮設です。

6	A-01 防水改修工事：仕様にS1-F2とありますが、参考業者等ありましたら御指示をお願いします。	田島ルーフィング（株）です。
7	A-18 現況撤去図：U字型のポリエチレンフォームの既製品がないので、棟部（新設塩ビシート機械固定工法）の部分のみ既存防水層存置でよろしいでしょうか。	A-18 記載の通り、棟部の既存防水層は撤去してください。

平群中学校		
No.	質問内容	回答内容
1	A-01 改修特記仕様書 1 2. 仮設工事：①足場その他の枠組足場材は、先行手摺式くさび式足場材を使用して宜しいか。	くさび緊結式足場として問題ありません。仮設計画書において監督員の確認を受けてください。
2	A-06 仮設計画図 交通誘導員の配置は常駐と記載されていますが、常駐1名と判断して宜しいか。	A-06 仮設計画図及び現場説明書（8）記載の通り常駐2名です。
3	屋根撤去後から新たな屋根設置までの期間、室内に雨水が漏水しますが、その防水対策は設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	降雨対策は本工事に含まれます。
4	新規屋根は現場での成型になりますが、成型用の足場の図面と数量がございません。設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	成型用の足場は本工事に含まれます。
5	屋根改修時の室内の仮設に、全面棚足場又は全面落下防止ネットの設置を、安全面から必要ですが、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	必要な安全措置は本工事に含まれます。
6	平群中学校設計図、外壁改修工事の特記 A-02 図、ひび割れ改修工法、シール工法「パテ状エポキシ	A-02 改修特記仕様書、シール工法「パテ状エポキシ樹脂」は誤記です。「可とう性エポキシ樹脂」が正

	樹脂」となっておりますが、一般的、作業効率的には「可とう性エポキシ樹脂」と思われます。可とう性エポキシ樹脂使用と考えると、よろしいでしょうか。	です。
7	屋根重量の増加を行えないことから～ となっておりますが、施工時の荷重は㎡あたりどれくらい見られるのでしょうか。また、固定荷重の増加が見られないことは、長期荷重或いは地震時のどちらの荷重で決まっているのかご教示ください。	施工時の荷重増は問題ないと考えます。長期荷重で決まっています。
8	建築図面には無いのですが、西側妻面に耐震改修による外付け水平補強の鉄骨フレームがありますが、塗装等は必要ないのでしょうか、ご教示ください。	塗装等は不要です。
9	中学校屋内運動場の野地板撤去・新設範囲が全体の約 30%としか明記されていないので、具体的な範囲を図示して頂きたいです。	現場説明書（20）施工に留意すべき事項記載の通り、劣化状況を確認し取替が必要な箇所を報告してください。
10	中学校屋内運動場の堅樋に関しまして立面図では撤去・新設ですが詳細図では既存に差し込みです。どちらが正でしょうか。	A-16 立面図 2、A-34 軒先詳細図記載の通り既存撤去の上、新設です。
11	明細書には桧上小とありますが、A-04 の材料評価名簿には壁羽目板北海道パーケットとあります。どちらになりますか？ 尚、北海道パーケットのメーカーは t = 18 mm の仕様はないようです。t = 15 mm で杉、カバ、ナラの 3 種類だけのようです。桧の単板の数量が揃っていないようで生産ができない状態らしいです。サイズは	建築材料等参考表、壁羽目板記載の北海道パーケット（株）は誤記のため削除します。 壁羽目板の仕様は A-03 改修特記仕様書記載の通り、桧の上小節としメーカー指定はありません。

	いずれも 1800*215*15 です。	
--	----------------------	--

共通事項		
No.	質問内容	回答内容
1	現在、他の工事に従事しコリンズ登録されている技術者を配置する場合、契約予定の3月下旬までにコリンズから外れていたらいですか。もしくは事後審査書類提出の時点でコリンズから外れている必要がありますか。	配置予定技術者の専任性については事後審査の時点で確認します。(事後審査書類提出の時点でコリンズから外れている必要があります。) 但し、監理技術者等の交代については「監理技術者制度運用マニュアル」(国土交通省、令和7年1月)の規定に準じて可とします。
2	両校設計図、A-05 図、工事区分内 66, 67 番にマークがありますが、想定されている事由お教えください。	揚重作業に使用する重機等が道路区域を使用する場合を想定しております。
3	両校電気設備設計図 E-03 特記内の PCB の処理に関して保管方法の明記がありません。また保管容器(オレンジBOX)は、町でご用意されているのでしょうか、お教えください。	高所に設置された照明器具の安定器については銘板確認出来ない為、竣工年で PCB は含まないと判断しております。撤去時に PCB 含有と判明した場合は監督員の指示により保管するものとします。保管容器は受注者で用意するものとします。
4	本館体育館を学校の授業のほか学校開放事業として、～令和8年4月から完成期日までは、施設の開放を停止する～ 仮契約が2月初旬で準備工に入り本契約が3月下旬であり、その間に開放停止期間を短縮できるよう検討することを計画しています。開放停止期間を短縮できるように工程計画の立案するため、実施工程はいつごろまでに提示すればよいでしょうか。	実施工程については本契約締結後、概ね1ヶ月以内に提示してください。学校開放事業停止期間については本契約締結後、監督員と協議してください。
5	E-03、E-11 自火報設備：新設機器の仕様の記載が見当たりませ	E-03、E-11 に関する凡例が記載漏れでした。平群中学校は、差動式感知

	ん。仕様詳細が確認できるメーカーの御指示をお願いします。	器 2 種露出型、平群南小学校は空気管 AP-4 です。
6	平群中学校設計図、外壁改修工事の特記 A-02 図、機械式注入工法において、「注入後にコア抜き」を行う事とありますが、平群南小学校設計図ではマークがありません。どちらが正ですか。また行う場合 L-50 mm 程度と考えてよろしいでしょうか。	南小学校 A-02 改修特記仕様書 4 外壁改修工事において自動式低圧エポキシ樹脂注入工法を採用するため、コア抜きとりは必要です。（注入状況の確認方法の○印抜けです。） 行う場合、公共建築改修工事標準仕様書の 4.2.5 (6) 記載の通り、コアの形状は径 50 mm、深さ 70 mm とします。

【特記事項】

・現場説明書（23）について

文化財保護法第 94 条第 1 項の規定に基づく通知の結果、「慎重工事」に決定しました。

・本工事内訳書（入札書に同封）について

施設名称に誤りがありましたので、訂正したものを HP に掲載しています。

【注意事項】

・質問書に誤字が散見されます。入札書等に不備があった場合、失格となりますのでご注意ください。

（例） 誤）平郡町 正）平群町